

大阪府立北野高等学校 平成 29 年度 第 1 回 学校協議会 議事録 (抄)

1. 日 時：平成 29 年 6 月 17 日 (土) 9:25～11:30

2. 時 程： 9:25～10:30 授業参観 (3 年英語、3 年世界史、3 年国語 (現代文) の参観)

10:30～11:30 協議会 (於：校長室)

(1) 校長挨拶

(2) 事務局より報告

- ・校長 ○ 平成 29 年度学校経営計画、平成 28 年度学校評価について
- ・進路指導主事 ○ 平成 28 年度 進路状況について
- ・生徒指導主事 ○ 学校の様子について
- ・教務主任・首席 ○ 教科書選定について

(3) 意見交換、協議

校長挨拶、事務局からの報告に基づき、特に、教科指導、教育相談、進路指導について協議した。

3. 主な協議内容及び提言

(1) 授業参観に関して

- ・私たちの時代は、いわゆる「詰め込み」中心だったが、今は考えさせることに重点があることが授業から伝わってきた。
- ・英語はグループワークが中心で時代の流れを感じた。教材選びが重要なポイントだと思う。教材選びについてもご苦労されているのだと感じた。
- ・世界史でも電子黒板を使用されており、先生は語りに注力でき、生徒もよく集中していた。板書する時間も省略できてよい。
- ・国語の配布プリントは、物事を考えていく上で将来的にも役立つレジュメだと感じた。先生のコメントは短いですが、的確で生徒にもう一度考えさせる内容だった。感心した。

(2) 事務局よりの報告に関して

- ・教育相談について、相談に行きづらい生徒もいるだろう。自分の学校に相談することに抵抗を持つ生徒もいるはず。外部にも相談する機関があるということを案内することが大切。
- ・ほめることが大事だと思う。親子間でもしっかりとコミュニケーションをとってほめるべきだ。家庭でも学校でもほめて効用感を高めてあげてほしい。
- ・コミュニケーションが苦手な要因はスマホにもある。LINE は使ってもかまわないが、手紙を書く機会も作ろう。また、単語だけでしゃべりかけてくる生徒も多くなっている。授業でも、しっかりとした文章を話す場面をつくることが重要だろう。
- ・日本の理系の研究者のレベルが下がっている。高校生が受験をゴールにしている、その先を見据えていないことが要因として挙げられるのでは、と感じている。日本を牽引する人材育成をめざすには先を見据えて進路を考えさせるべき。教科指導でも先生方がこの点をしっかりと自覚すべき。

4. 校長より

協議内容及びいただいた提言については校内で共有し日々の教育活動のさらなる充実に努めていく。とりわけ、授業の充実は「授業第一主義」を掲げる本校の生命線。教職員一人ひとりがその専門性と教

職経験を活かして、アカデミックで魅力的な授業づくりに努める。教育相談については、2名のスクールカウンセラーに来ていただき体制の充実を図っている。引き続き、組織的かつ気付きを大切にした「柔らかい」対応ができる体制をめざしたい。次代のグローバル・リーダーの育成は本校の教育目標であると同時に本校に求められる社会的ミッションでもある。グローバルな社会的課題について、国際的な視野で多角的に学び積極的に解決策を提言できる生徒を育成すべく、海外、大学との連携交流や国指定のSGH (Super Global High School) 等の取組の充実を図っていく。その際、授業を中心とするさまざまな学習活動の中で、自分の考えをまとめ表現できる力、相手の主張を理解し自分の意見を交えてしっかりと議論ができる力を育成したい。